

—あなたの一步を応援します—

発見！トライ人

『外国のかたにも自分の言葉で伝える』挑戦

平和の語り部

ついき
築城 昭平 さん

トライ年表

1951年

・被爆体験講話を始める

1970年

・「原爆被爆教職員の会」設立

1983年

・長崎平和推進協会設立時
から会員として活動

2017年

・90歳で英語の勉強を始める

2018年

・初めて英語での被爆体
験講話を実施



あなたの気になるトライ人募集!

市内で新たな一步を踏み出す人、または挑戦を支える「トライ人」を募集しています。自選・他選は問いません。市ホームページか
はがきでご応募ください。



ながさき
井戸端
パーティー
IDOBATA PARTY

長崎市に住む人、働く人、学ぶ人が互いに“顔見知り”になることを目的とした「井戸端パーティー」。ホームページでさまざまな交流の場を紹介しています。

井戸端パーティーの楽しみ方

参加

お出掛け先を探して、自由で気軽な交流の場に参加しよう!

投稿

好きなことや地域活動などの企画を、気軽に投稿して告知しよう! 個人でも団体でもOK

中央地域センター ☎829-1418

井戸端パーティー

SNSもチェック!

Instagram

Facebook



井戸端パーティーを活用しているかたをご紹介します!

童心に返って、Joynusと一緒に遊ぼう!

記事全文は上記ホームページで。



小柳さん

林田さん

今月の井戸端peopleは、市民活動団体「Joynus」代表 小柳壮平さんと副代表 林田龍矢さん。「長崎市で最も童心に返れるスポーツ団体」として月一回、サッカーやドッジボールのようなスポーツから、けいどろやかくれんぼなどの遊びまで、さまざまなイベントを開催しています。

毎回、ユニークな企画とともに、子どもと大人が一緒になって全力で遊べるようにルールや道具を工夫しているそう。

小学生以上なら誰でも参加OK!

Joynusで、スポーツや遊びを思いっきり楽しみませんか?



ながさきに新たな風を吹かせる挑戦びと、
 “トライ人”を紹介するコーナー。
 若者からベテラン、輝くみなさんの挑戦ストーリーとは!?

言葉の壁を超えて

あの日の記憶を伝えていく

築城さんは、長崎平和推進協会の会員として被爆体験を若い世代に語り継ぐ95歳の最高齢の「語り部」です。

被爆体験講話を始めたきっかけは、終戦から6年後、当時の爆心地付近の状況を写真で知り、この悲惨な様子を忘れてはいけないと思ったことでした。講話を始めた頃は本職だった教師の傍ら、個人で活動していましたが、広島からの呼びかけもあり、「原爆被爆教職員の会」を立ち上げ、組織的に活動を始めたそうです。

90歳から本格的に英語の勉強を始め、現在は外国のかたにも自分の言葉で講話を行っています。

英語の勉強を始めた理由は、外国のかたに自分の思いを理解してもらったためには、自分の言葉で話す必要があると感じたからとのことでした。

築城さんが外国のかたに講話を行う際は、原爆が投下された当時の爆心地付近の写真と周辺の地図を使って、状況をイメージしやすいように意識して話をしているそう。



築城さんは、「これからも外国でたくさん講話を行い、自分の言葉で原爆の残酷さを伝えていきたい。世間が原爆を永遠に忘れないようにするための力になりたい」と語っていました。

体の健康と最後まで語り続ける覚悟

講話を続けていくために体の健康を保つこと。また、自分が当時の悲惨な様子を絶対に忘れないようにしながら最後まで語り続けるという覚悟を持ち、講話を行っているそうです。



「挑戦」に
 不可欠な
 ものは?

わがまち 自慢 調査し隊

一時は途絶えたけど、
 地元のかたの尽力で
 復活した芸能なんだよ!



お題

横尾だんじり (横尾地区)

大人と子どもが一丸となつて魅せる 大迫力の舞!

横尾地区では、伝統芸能である横尾だんじりが明治初期から代々受け継がれています。

雨乞いや、豊作を願い、笛や太鼓に合わせて掛け声を掛けながら舞います。演奏者の美しい動きや特徴的な太鼓の叩き方が見どころです。

少子化で子どもの担い手が減るなか、横尾小学校の授業でだんじりを教えることで新しいメンバーの加入にもつながっているそうです。

9月25日㊿に市民会館で開催される郷土芸能大会に出場します。ぜひ、迫力の舞いを実際に見に行ってみては!

まちの自慢を募集!

「広報ながさき」で紹介して欲しい、まちの自慢を募集しています。自選・多選は問いません。はがきか市ホームページでご応募ください。

